



最近の糖尿病に関する話題 「スティグマ」と「アドボカシー」

副院長(兼)医療連携・相談室室長 江口英行

特集：『最近の糖尿病に関する話題 「スティグマ」と「アドボカシー」』

副院長(兼)医療連携・
相談室室長 江口英行
・・・1

・医療連携・相談室
担当医師&スタッフ紹介
・・・2~3

・感染対策について
・・・4

医療連携・相談室では連携、相談支援、入退院支援などを通して、地域住民の皆様の心身の健康を守るため、心かよう信頼と安心の病院を目指して頑張っております。これからも益々のご支援をお願いいたします。

さて、私は代謝内分泌分野を専門にしており、糖尿病を持つ患者さんを多く診療していますが、最近の話題として「スティグマ」と「アドボカシー」が取り上げられることが多いので、簡単にご紹介いたします。

スティグマ(Stigma)は聞き慣れない言葉ですが、恥・不信用のしるし、不名誉な烙印の意味です。社会における糖尿病に対する知識不足や誤ったイメージの拡散により、糖尿病を持つ患者さんは社会的偏見による差別、差別されるのではないかという恐怖に苦しんでいます。「糖尿病になったのは本人の自己管理ができていないせいだ」「食べ過ぎで節制ができないせいだ」などとレッテルを貼られ、本人の性格や能力を不当におとしめられてしまいます。

分類として、社会的スティグマ(糖尿病におけるスティグマの代表的な例：就職活動や生命保険加入などで不利益を被る)、乖離的スティグマ(例：治療アドヒアランスに関連した叱責を受ける)、セルフスティグマ(例：糖尿病で



あることで自己をさげすむ)などが挙げられます。特に我々医療従事者が気をつけなければならないのは模範的な患者のイメージからの乖離であり、間食をとがめる、インスリン注射を拒否すると叱責する、などが挙げられ、その結果患者さんは渋々注射をする(が、結局スキップしたり中断する)、家族にも隠れて間食するなどの行動に出ます。このような行動はスティグマを回避しているように見える一方で、著しく自尊心を低下させます。このスティグマと戦うために糖尿病の正しい理解を促進する活動を通して、糖尿病患者さんが安心して社会生活を送り、生き生きと過ごすことができる社会形成を目指すことがアドボカシー(Advocacy)活動になります。日本では2019年に日本糖尿病学会と日本糖尿病協会が合同のアドボカシー委員会を立ち上げたばかりで、今後の展開に注目したいと思います。

令和5年度、医療連携・相談室の職員体制を紹介します。

当医療連携・相談室は、江口医療連携部長をはじめ、医師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職等、32名の組織です。今年度、新たなメンバーを迎え、在宅医療支援体制や医療連携体制のさらなる充実を図っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



〈医師紹介〉



江口 英行(えぐち ひでゆき)

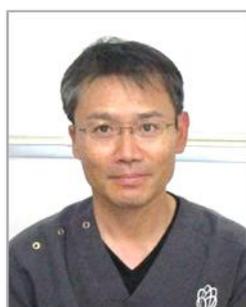
医療連携部長(兼)副医療監(兼)副院長
(兼)診療部長(内科系二)
(兼)教育研修部長(兼)内科(代謝・内分泌)統括科長
(兼)栄養管理室長(兼)人間ドック室長(兼)医療連携・相談室長



高橋 潤

(たかはし じゅん)

医療連携副部長
(兼)診療部長(総合診療科)
(兼)教育研修副部長
(兼)総合診療科科長



大樂 勝之

(だいらく かつゆき)

医療連携副部長
(兼)診療部長(外科系五)
(兼)整形外科統括科長



渡辺 晋一郎

(わたなべ しんいちろう)

医療連携副部長
(兼)診療部長(内科系一)
(兼)内視鏡部長
(兼)教育研修副部長
(兼)消化器内科科長
(兼)内視鏡室長



鈴木 春芳

(すずき はるよし)

医療連携副部長
(兼)精神科医長

〈スタッフ紹介〉

★今年度異動者です

連携部門



情報課長医事
(兼)医療連携相談主幹
よこやま ちはる
横山 ちはる



社会福祉士
ほそや えり
細谷 笑里



事務
まいの はるみ
情野 はるみ



事務
たけもと みゆき
竹本 美友貴



予約センタースタッフ

相談支援部門



看護師長
さがえ わかこ
寒河江 和加子



副師長
よしだ さとみ
吉田 里美

精神科支援部門



精神保健福祉士
社会福祉士
いちの りょうこ
市野 涼子



精神保健福祉士
社会福祉士
いినာ しゃき
飯澤 沙希

入院支援部門



副師長
たかはし あつこ
★高橋 敦子



看護師
えんどう かずこ
遠藤 和子



看護師
いとう ちえこ
伊藤 智秋



看護師
たかはし ゆかり
高橋 紫



看護師
おがさわら ちかこ
★小笠原 千香子

退院支援部門



副師長
すずき まゆみ
★鈴木 真由美



看護師
おおくま なおみ
大熊 奈緒美



看護師
さいとう よしえ
★佐藤 好恵



看護師
ちだ みさこ
千田 美佐子



看護師
えんどう としこ
遠藤 俊子



社会福祉士
さいの あつこ
齋野 敦子



社会福祉士
すがい ひろこ
須貝 広子



社会福祉士
よどの はやと
★淀野 駿斗



看護師
なす やすこ
那須 康子

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地
TEL : 0238-46-5000
(代表)

ホームページ :
www.okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 E-mail :
renkei@okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 1
(退院支援・連携部門)
FAX : 0238-46-5721

医療連携・相談室 2
(相談・入院・精神部門)
FAX : 0238-46-5030

予約センター (直通)
TEL : 0238-46-5700
FAX : 0238-46-5722

感染症対策について (令和5年5月2日時点)

当院では、引き続き感染症対策を講じております。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

受診者対応…正面玄関の検温測定器により実施

発熱(37.5℃以上)や身体症状がある場合は、受付にお知らせいただき看護職員がスクリーニングを行い対応致します。

面会対応…面会は全面禁止

緊急等、医師が認めた場合のみ、キーパーソンに限り短時間で許可をしています。

病棟への立ち入り可能要件…入退院付き添い：最大2名

手術待機：最大3名

医師説明：最大3名

出産のための来院：1名

その他主治医が必要と認めた場合：のべ5名

洗濯物等の受け渡し…ご家族のみ1名 1日1回5分以内

洗濯物等の受け渡しのための病棟に上られる時間は下記の通りです。

対応時間	平日	15:00~18:15
	土日祝	15:00~16:45

★地域の医療・介護関係者の方の面会も医師が認めた場合に限りです。面会が必要な場合には、医療連携・相談室退院支援担当者にご相談下さい。

★オンライン面会を実施しています。希望日の3日前までにお申し込み下さい。

★院内へ入られる際の手指衛生、マスク着用は引き続きお願い致します。
(院内では常時マスク着用をお願いします。)

※感染状況により、対応が変更される場合があります。

面会対応について詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

